

(様式2-2号)：指導業務者の下での業務実績による実務経験短縮者用

農業土木分野に関する実務経歴書

氏名 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

指導業務者氏名 \_\_\_\_\_

資格名 \_\_\_\_\_

登録番号 \_\_\_\_\_

指導業務者役職 \_\_\_\_\_

証明者 機関の住所 \_\_\_\_\_

機関の名称 \_\_\_\_\_

代表者の役職、氏名 \_\_\_\_\_ 印

勤務先が変わった場合は、前勤務先における実務経歴を含め、**現在の勤務先の代表者の証明**を受けてください。

勤務先名	指導業務者の氏名、有資格名、登録番号役職名を記載します。複数の者になる場合は、最後の業務の指導業務者としてください。	実務期間	左の内指導業務者の下での実務期間
〇〇測量設計(株)	〇〇県営土地改良区用水路 ほ場整備基本計画他5件	平成22年度	
	〇〇県営 〇〇用水 国営〇〇 及び盛土	24年度	
	〇〇県営 ほ場整備	25年度	平成25年度
	〇〇県営 ほ場整備	26年度	平成26年度
	〇〇県営 ほ場整備	27年度	平成27年度
〃	〇〇県営 ほ場整備	28年度	平成28年度
		7年	計 4年

実務経歴がスタートした年。本記入例では、7年間の実務経歴と業務指導者の下での実務期間が記載されている。

**【記入の際の注意事項】**

①実務経歴は1欄に1ヶ年分を記入し、**実務期間が7年以上あることを分かるように記入**してください。また、可能な限り新しい実務経歴を優先してお書き下さい。(書ききれない場合は、複数枚に記入してください)

②実務期間の合計年数を受験申込書(様式1号)の実務経歴年数に記入してください。(実際の実務経歴年数の合計)

③業務名で「農業土木分野の事業」であることや「業務内容」が判別し難い場合は、発注者(部署)および主たる業務の内容が分かるように記入してください。

様式2-1号の記入例も参照願います

実務経歴が7年以上ある場合でも、業務内容により経歴として認められない場合があることを想定して、**多めにご記入**ください。

入社してから昨年度までの**実務経歴年数**

〔記載〕 代表者の氏名、氏名を公的に証明する。登録番号を記載する。大学等教育機関名、指定された課程(学部、学科或いはコース)を1行目に記して下さい。農業土木分野(用排水施設整備、農地整備、農道整備、農地防災保全、ほ場整備、その他農業土木に関する事項)の事業に関する調査、計画、施設管理等の実務経歴です。業務実績を記入し、そのうち指導業務者の下で実施した業務の実務に従事した年度を合わせて記入する。(様式1号受験申込書の実務経歴年数と同年数を記入)